

## 「利用者支援事業(母子保健型)」の開設について

### 1 概要

妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的支援を提供する利用者支援事業(母子保健型)「秋田市版ネウボラ」を、平成28年10月から実施する。

平成26年6月から実施している利用者支援事業(基本型)と連携し、切れ目ない支援を提供していく。

### 2 事業内容

専任の助産師(母子保健コーディネーター)2名が中心となり、以下の業務を行う。

- (1) 妊娠届時や転入時に妊婦と面接を行い、個々人の状況を把握する(支援リストの作成)。
- (2) 妊娠・出産・育児に関する様々なニーズに対して、必要な情報提供を行うほか、総合的に相談支援を行う。
- (3) 早期に支援が必要と判断したケースについては、支援プランを作成し、必要な支援へつなげる。

### 3 今後の方針等

これまでは、特定妊婦(若年、シングルマザー、医療機関からの情報提供等)への支援が主だったが、秋田市版ネウボラでは、全妊婦との面接を目標とし、潜在的な不安や悩みにも対応する。

